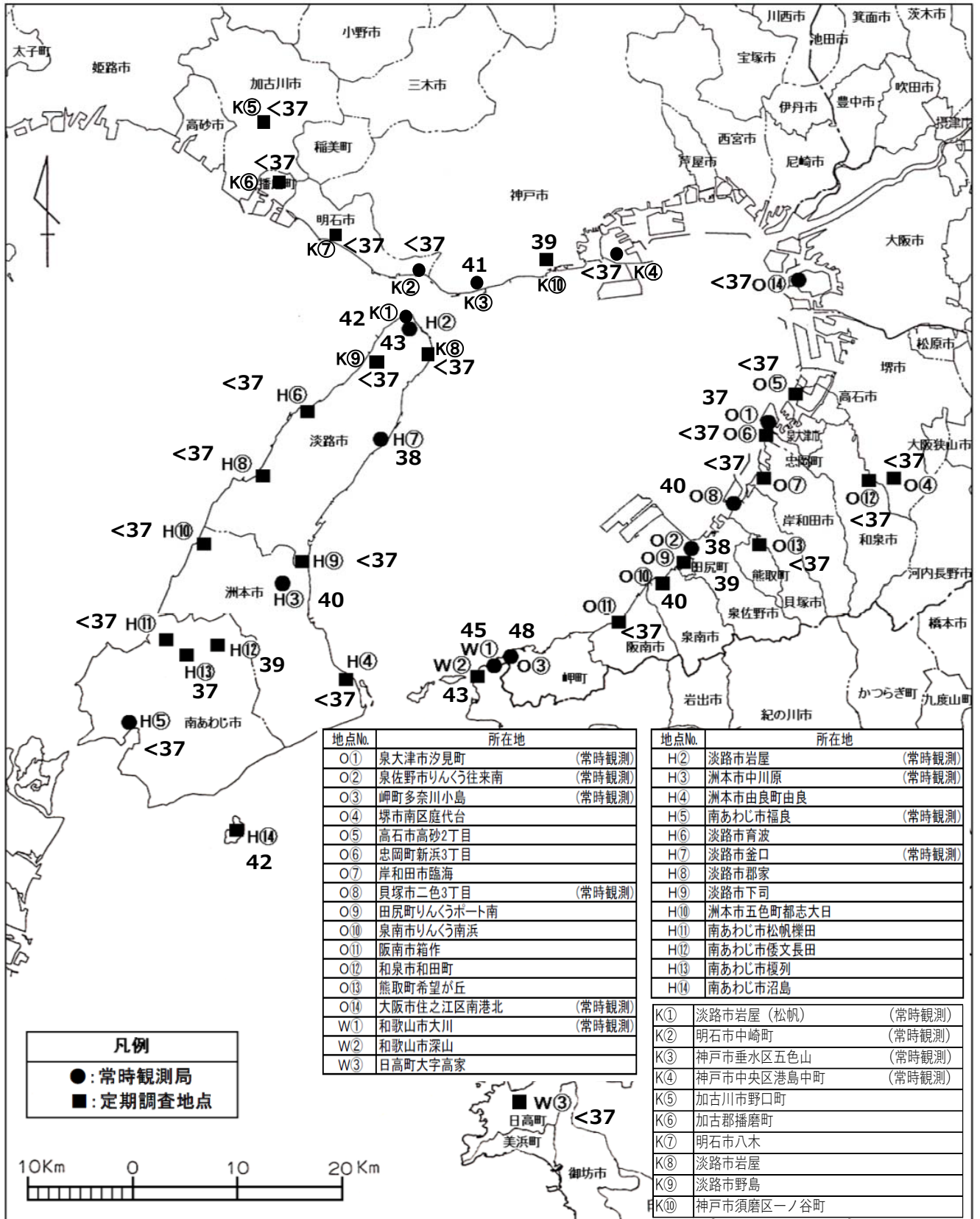


## 騒音の現状等について

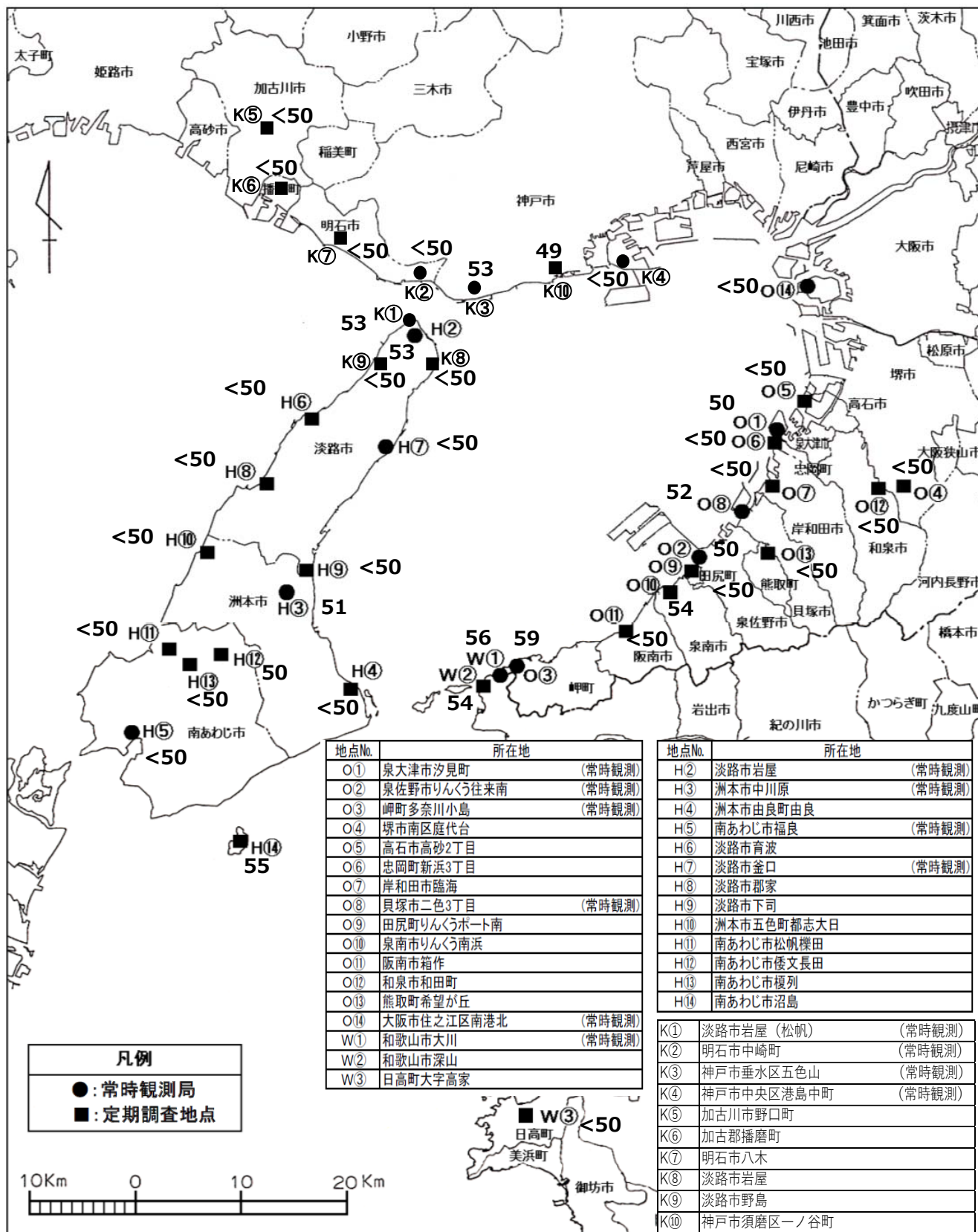
関西国際空港及び神戸空港 航空機騒音 (Lden) の状況 (2019年度 測定結果)



【環境基準】 地域類型Ⅰ：57dB以下、地域類型Ⅱ：62dB以下

出典：関西エアポート社HP

関西国際空港及び神戸空港 航空機騒音 (WECPNL) の状況 (2019年度 測定結果)



【環境基準】 地域類型Ⅰ：70 WECPNL 以下、地域類型Ⅱ：75 WECPNL 以下 出典：関西エアポート社 HP

# 1 騒音環境と航空機騒音の程度について



〔生活騒音の現状と今後の課題〕(環境省)より一部引用

〔出典：関西エアポート社 HP より〕

# 2 航空機騒音の評価値について

**Ldenとは？** 単位はデシベル(dB)  
 1日の間で発生する航空機騒音の全エネルギーを平均した指標。  
 それぞれの航空機騒音を「日中」「夕方」「夜間」の時間帯に応じて重み付けして合計し  
 (夕方+5dB、夜間+10dB)、そこから24時間の平均値を求める。

**Lden = 全エネルギーの平均**  
 ○騒音の実継続時間内の積分値から求めた単発騒音暴露レベル(L<sub>A,E</sub>)により評価する。  
 ○飛行騒音と共に、地上騒音も評価する。

**WECPNL (W値) とは？** (※2012年度まで航空機騒音の評価指標として採用)  
 1日の間で発生する航空機騒音のうるささの指標。  
 それぞれの運航の最大騒音値から、1日の平均値を求め、時間帯に応じた重み付け回数  
 (昼間1倍、夕方3倍[+5dB相当]、夜間10倍[+10dB相当])を加味する。

**WECPNL = 最大騒音レベルの平均 + 10log重付回数 - 27**  
 ○測定された騒音の最大値(L<sub>A,Smax</sub>)で評価する。  
 ○騒音の継続時間を一律20秒と仮定した場合、Lden ≒ WECPNL - 13dBになる。  
 ○飛行騒音のみを評価し、地上騒音は評価に含まれない。

※時間帯区分：日中 (7~19時)、夕方 (19~22時) 夜間 (22~7時)

〔出典：関西エアポート社資料より〕